

# ビジネスモデルと人的資源管理1 . 060628

<p>「知的生産の技術研究会」の事業構想というものの組織に興味を持った 3つの軸から、大きなモノへの展開、その中に「公教育への導入」というものが含まれていた これは宮城大にも導入されているということなので、大変身近に感じた 自分は石ノ森 章太郎と同じ地元で記念館にも行ったことがある</p>	<p>様々な文化が現在し、それと同時に様々な遺産もある 遺産と一口に言っても絵画、彫刻といった美術作品であったり、建築物であったりする そして、“人”も含まれる人だって立派な「遺産」であり「資源」である 今日後藤新平についてのくんだりでは彼の行った仕事に触れ、非常に興味深かった</p>	<p>今日の講義で学んだ後藤新平という人は、調査と人質を非常に大切にしてきた人だったという話を受けて、自分はずばらしいことだと思った 人というのは何をすることもとても重要な資源であり、かの有名な知将、武田信玄も人を非常に大事にしていたそうだ 後藤新平という人の考える力もすごかったようで先を見ることができたそうだ 自分にはそのような能力はないので、もしできるのであればそういった力をつけたいと思った</p>	<p>植民地支配というものとはただ単にその現地人を武力で支配するだけのものだと思っていたところが、今日の講義を聞いて、植民地支配の裏では、様々な物事が動いているもたなあ、と実感した 今の時代は人材派遣をはじめとして即戦力が常に求められており、人材育成ということにあまり目が向けられていないのはとても残念だと思う 日本の植民地支配は、他国の植民地支配に比べたら良いものであったのかもしれないが、その裏では多くの人間の犠牲が生まれてこれらが成り立っているということも考えなくてはならないと思う</p>
<p>大学の構想についての図が見られてよかった これまで「事業構想」ということが不明確だったので、これで人にも説明できそうだ 野田学長の講義を是非聞きたし 後藤新平という人は、医学から政治に方向転換をして、いろいろなことをやり遂げていて素晴らしいと思う</p>	<p>後藤新平のような偉大な人物の存在を知らなかったことをとても恥ずかしく思った 宮城大が“公園の中のリゾートホテル”というイメージで作られたということでしたが、確かにこんなホテルがあったら素敵だと思った</p>	<p>今回の講義を受けてみて、“事業構想”という言葉の意味をまた深く考えさせられた 大学の授業構想、国家の事業構想、知的生産の技術研究会の事業構想、それぞれの説明を図解していたのでとてもわかりやすく大変良かったと思う</p>	<p>今日の講義で一番印象に残ったのは後藤新平だ 台湾総督府民政庁官や南満州街道の総裁になるといった大変忙しい人生を歩んでいるにも関わらずに「自治三訣」という人の世話にならずに逆に人の世話をし、その報いを求めないといった志を持っているのに私は感動した 同じ出身地に後藤新平のような人がいるのはとても誇らしい話しは変わるが、歴代総理大臣で1位に輝いた原敬が暗殺されていたのに驚いた</p>
<p>「事業」というのは長い年月をかけて創るもの 「構想」というのは非現実的な物事を現実のものにする事だ 構想したら終わりではなく、じっくりと取り組むことが大切だと理解した 後藤新平は、とても魅力的で学ぶべき点が多い人物だった</p>	<p>地震が起きたとき、残るのは公園等だけ、その為に日比谷公園が出来たり、道路が強化されたり 日本で作られなくなったものが海外で再活躍 日本にあった時よりアップグレードされた様に長持ち</p>	<p>その中での講義の話の中でたくさんでてきた後藤新平という人物は、すごい人である 感心した 年表で見ても、毎年たくさんのことをしており、すごい人生だなと思う また、写真で見ても、先生の話聞いても、感じのいい人だなと思った 昔から日本は、日本を“動かしていく”人物が大事である そのような人々がいたからこの日本という国の歴史が刻まれているのであろう</p>	<p>後藤新平は偉大な事業構想家であった 今も昔にも、このように時代の先を見つめた着眼点を持っている人物がいるのだと知れてよかった 医師という立場にありながらも次々と幅ひろい活躍をした後藤新平の知識の深さを知れた</p>
<p>大変ためになった授業だった</p>	<p>何より驚いたのは、文明学の構想のページで日本とヨーロッパという線引きをした所 これは今まで自分にはない考えで納得していくものだった また後藤新平の自治三訣は、祖父の贈ってくれた言葉であることに気づいた やはりいい言葉だ ただ祖父のものは漢字で色紙に書いたものだったっけな</p>	<p>「遠眼鏡1人で持てば罪つくり」自己で考え見つけ出したアイデアや思想を完結したいと考えがちだと思うが、後藤新平氏は、人をよく見ることで適した人材になりうる人に任せ、自己は常に先を見つけた そのパワーは計り知れないと考える 時代は人を作りあげる 先駆者となる人は時に障壁にぶつかることも多いと思うが、人脈を活かし、今の世にも通じるビジネスモデルを作り考え、人物として、もう少し知りたいと考えた</p>	<p>国家単位のビジネスモデルに興味を持った</p>
<p>現代の日本の社会の基盤を気づいた 先人達の優れた構想力に関心を覚えると共に、それを生かして時代のニーズに合った政治、教育機関の充実にもっと力を入れる必要性を感じた 宮城大の事業構想学部などはまさにその「知的生産の技術」を導入した新しい大学ということなので、社会からも期待されていると感じた</p>	<p>「自治三訣」にもあるように、「人のお世話にならぬやら、人にお世話をするやら、そしてむくいを求めぬよう」ということは口にするのは出来ても、実際行うことは難しいと思う だが、今回の講義を聞いた限りでは、後藤新平はそれを体言できていたように感じられた</p>	<p>国家単位のビジネスモデルに興味を持った</p>	
<p>日本の“今”を作り上げた昔の人は、何もないゼロからのスタートであった その力量には大変驚かされた 事業を構想することは、あらゆる視点から、ものを見つめ あらゆる関係性を考慮しなければならない 宮城大でそういったことを学び、実社会で活かしていけたら、と思う</p>	<p>満州の運営で得た体験が日本の復興に非常に役立ったことはよく知られていることだが、こうした事例を学びとる姿勢がビジネスモデルを考えていく上で役立つと思った</p>		

# ビジネスモデルと人的資源管理1

. 060628

<p>後藤新平氏の経歴からみると知見が広いと感じた つまり、後藤氏が輝かしい功績を残せたのは知見が広いからなのだと 思った また、現在何においてもオートマ化が進んでいるが「一に人、二に人、三に人」という言葉を振り返るべきなのだと 思った またモデルというものは図で表せるという ことで逆に考えてみると図で表せられるまで練ったり、落とし込んでいかないと モデルとは言いがたいのだということを知った</p>	<p>梅棹忠夫の「文明の生態史観」の図解は地球の人類の文明を大局的に表現でき ていて文明と文明が地理的要素として関係していることがよく理解できる 複雑なこと 理想化 単純化 の考えも見習うべき であろう 後藤新平の人的管理手法はとても素晴らしい 生物学的な見地から根本的な 管理をしている 例えば、その土地の習慣を取り入れることは、民族との融合という 考えから納得できるものである たとえば 事業構想の理想像である 以上のようなことを頭において事業構想していくことは大切であり、明確な人物 目標をもつと、物事に対しての判断力 行動がとりやすいと考える</p>	<p>日本や世界の文明の図解がおもしろかった 地図の図解はあまり見たこと なく、何でも図に起こせるのかと感じた また、宮城大の野田先生の講義の紹介 をしてくださったが、当時の方がいきがいがあるのだと思った 機会があればもっと この話を聞きたいと思った 後藤さんの話では後藤さんは様々なことをやって いるようだが、「芯」はきちんと持っているように感じた まぎれもなく歴史の担い手 である もう少し、この人について知りたいと思わされる内容だった</p>	<p>今日の講義を聞いて印象に残ったのは、まず、梅棹さんの『文明の生態史観』に ついてだった 日本は東南アジアに属さないとか、英日戦争がおこった可能性があ った等の話は今までの私の考え方にはなく、とても新しいものだったと思う また 後藤新平についても高校の歴史で台湾総督府民政長官であったことは学んだが ここまでいろいろな事をし、成功させた実績があるとは、知らなかったので 勉強になった</p>
<p>複雑なものを理想化単純化することが学問 であり、理想化、単純化がモデルであり、 図であるという言葉聞き、なるほど、と 思った 確かに何かを理解しようと頭で 考える時、図によって頭の中で整理されて いるというイメージは何となく湧いてくる 何か事業をなす時、それにピッタリな人物 を選ぶというよりも、後藤氏の話聞き、 全く異なる分野の人間でも、その人自身が 優れているなら、どのような大事業も達成 し、成功できるのだと感心した</p>	<p>今日の講義の大半は後藤新平の話であ ったが、個人的には野田学長の話の 図解に非常に興味を持ってしまった 当初 の構想とか、考えとか、何か今と全く違 うと感じた 野田先生の話は、よく耳に するし、すごい人であるとも聞いていた が、根本として、あの構想をやるのであ れば 県立大ではなく私大でやるべきだ ったのではないかと思った 講義の中 ではほんの2~3分しか取り上げられな かったが、宮城大の開学して、10年、そ ろそろ方向の転換期に入っていると思 う そういった意味でも、野田学長の 図解の部分が期になるところだったよ うに思う また後半の大部分を占めた 後藤新平の話 自分も彼を見習いたい ものである ある程度までは自分でや ってあとは周りへ振る 常に事業構 想を行う上では、大切なことであ らう</p>	<p>宮城大ができる時の過程やコンセプトを 初めて知った 自分の大学の成り立ちを 少しでも知ることができてよかった</p>	<p>様々な過去の偉人達の裏話や、アンケート で一番の総理大臣は誰か、など 珍しい データを知ることができてよかった</p>
<p>後藤新平の話がおもしろかった どのよ うな人間ができるのかによって、ビジ ネスモデルが変わることを知った 図 解で表すことで分かることは多くあ った 3ページの図は少し見にくか ったような気がする</p>	<p>後藤新平は医学という政治とは全く 関係ない分野が専門でありながら、 政治界で絶大な力を発揮した なぜ、 そのようなことができたのかという と、ビジネスモデルと考える時の、 事前の下調べが徹底されていたた めだろう また、“その土地にあ ったビジネスモデル論を考える” という考えは自分も見習っていこう と思う</p>	<p>後藤新平さんの考えで最も感銘を受け たのは、すべては「人」とであるとい う考えである すぐれた事業も人によ って考えられ、人によってなされる そして人の大切さを知り、考えるほ どに今後の日本に不安をおぼえてし まった 私自身が後藤新平さんと同 じ時代に生まれ生きていたとしたら 、どのような行動がとれたら だろうか 今の世を後藤新平さん が見たとしたらどのような事業 構想をするだろうか 人が大切、す なわち人を育てる教育が大切であ るとあらためて思わされた</p>	<p>歴史上で有名な人物である後藤新平の ビジネスモデル論を聞いた いつもは 今まさに社会で活躍している人のビ ジネスモデルを聞くことが多いので、 新鮮だった 東京駅の造りはレトロ な雰囲気を出しており、私が好き な建物の1つであるので、彼が建設 したということを知り、後藤新平 という人物を身近に感じられた</p>
<p>後藤新平は医学という政治とは全く 関係ない分野が専門でありながら、 政治界で絶大な力を発揮した なぜ、 そのようなことができたのかという と、ビジネスモデルと考える時の、 事前の下調べが徹底されていたた めだろう また、“その土地にあ ったビジネスモデル論を考える” という考えは自分も見習っていこう と思う</p>	<p>後藤新平は医学という政治とは全く 関係ない分野が専門でありながら、 政治界で絶大な力を発揮した なぜ、 そのようなことができたのかという と、ビジネスモデルと考える時の、 事前の下調べが徹底されていたた めだろう また、“その土地にあ ったビジネスモデル論を考える” という考えは自分も見習っていこう と思う</p>	<p>ビジネスモデル論や事業構想などとい う言葉が飛び交う現代であるが、こ こにいたる過程の中に様々な歴史 的人物が関わってきているという ことは避けては通れない事実であ るという感じた 今までは昔の人 たちの考え方は古いものであると ばかり考えていたが、現代の思想 には必ず古い人物、思想が携って おり それらをおろそかにはでき ないと考えた</p>	<p>ビジネスモデル論というのは最近の ものだと感じていたが、昔からあ ったことを知り 歴史を感じた</p>
<p>後藤新平は医学という政治とは全く 関係ない分野が専門でありながら、 政治界で絶大な力を発揮した なぜ、 そのようなことができたのかという と、ビジネスモデルと考える時の、 事前の下調べが徹底されていたた めだろう また、“その土地にあ ったビジネスモデル論を考える” という考えは自分も見習っていこう と思う</p>	<p>後藤新平は医学という政治とは全く 関係ない分野が専門でありながら、 政治界で絶大な力を発揮した なぜ、 そのようなことができたのかという と、ビジネスモデルと考える時の、 事前の下調べが徹底されていたた めだろう また、“その土地にあ ったビジネスモデル論を考える” という考えは自分も見習っていこう と思う</p>	<p>ビジネスモデル論や事業構想などとい う言葉が飛び交う現代であるが、こ こにいたる過程の中に様々な歴史 的人物が関わってきているという ことは避けては通れない事実であ るという感じた 今までは昔の人 たちの考え方は古いものであると ばかり考えていたが、現代の思想 には必ず古い人物、思想が携って おり それらをおろそかにはでき ないと考えた</p>	<p>後藤新平の言葉、「自治三訣」とい う言葉を知り、現代の日本におい ても最も重要なところを指してい る気がした また、ビジネスモデル 論というのは最近になって確立さ れたものだと思っていたが 昔50 年以上前に、すでにそれらしき ことが行われていたことを知り、 日本人もがんばっているのだと 感じた 最後にビジネスモデル論、 ビジネスモデルは50年先を見透 かさないは無駄で、一時の繁栄 に目をくらませてはいけないの だと思った</p>

# ビジネスモデルと人的資源管理1

.060628

<p>「文明の生態観」は初めて聞いた なるほどと思った 後藤新平のように医者出身で偉い人間になった人は日本に多くいる気がする 人は一人一人違う 人々を一概に見ない、分けてみた方が妥当だ という気がする</p>	<p>今日の講義の内容は非常に興味深かった ビジネスモデル論として事業構想を人的資源管理の観点から後藤新平を例として取り上げた今回の講義は、なんか斬新だと思った 無学なもので、梅棹氏の文明の生態史観というものは知らなかったが、福沢先生の脱亜論に近いものがあるかなという印象を受けた 興味があるので、是非著書を読んでみたいと思う</p>	<p>後藤新平を知らなかったが、偉大な人だということがわかり1つ勉強になった</p>	<p>私は『事業構想』という言葉にいまいちピンとこないでこの授業を受けていたが、大学の事業構想の図はとてわかりやすかった 『事業構想』というものがどういうものなのかわかった気がする 着想を計画にまで落とし込むことを「構想」というなら事業構想の中に事業計画を含む関係になるのだろうか。そこが少しだけ謎だと思った</p>
<p>ビジネスモデルという観点で歴史上の有名な人物を学ぶというのは新鮮味があり、楽しみながら学ぶことが出来た 知っている人物もいれば、知らない人物もいてビジネスを学ぶ上で時代の最先端を見ていくばかりではなく、過去の偉業を見ていく事も重要な事だと認識した 是非次回の授業も受けて自分の力としていきたい</p>	<p>今日の講義ではモデルとは図によって表せるくらい単純化されたものであり事業構想学部はビジネスモデル化できる人材を作りだす学部だとわかった デザイン情報学科についても、自分の考えをえや図や数式で表す学部であり、同じ事が言えるように思う だいが学部についてははっきりした何に対しても、作り上げていくことが大切なことではないかと感じた</p>	<p>後藤新平は政治家でありながら、他の多くの分野で積極的に活動し、それによって日本の近代化が進んだ 他分野に興味を持ち、積極的にその発展に貢献しようというリーダーシップをとれる人物がいたということは誇るべきことだ</p>	<p>演説が80年を超えてもなお、NHKの経営方針の柱になってるなど、後藤氏の影響は現代にも大きく残っていると感じた</p>
<p>とても感心した こんな素晴らしい人の努力の過程を知りたい</p>	<p>後藤新平は政治的なことにもならず文化的に様々な影響を与えた人だと知った</p>	<p>後藤新平は医学を学び医者になったがそれに留まらず留学したり学ぶことをやめなかった</p>	<p>日本史の勉強をしているようで楽しかった 先生がおっしゃっていた通り、どんな偉大な人でもいつかは亡くなっていくんだな、と実感した</p>
<p>今回の講義を受けて思ったことはビジネスモデル論の講義なのに、日本史の勉強をしているような感じがした 後藤新平という人物を今まで知らなかったが、様々なことをやっている人だということがわかった 大連に銅像が立てられているということは後藤新平が国内だけではなく、中国においても彼の功績が理解されているということだと思う</p>	<p>後藤新平は明治の時代から時代の先駆けとして事業を開発していた事実を持つ素晴らしい人物だと思う 後藤新平の言った3つの言葉が印象に残った</p>	<p>今までの自分にはない視点から見た授業だったのでおもしろかった 自分は歴史が好きなので非常に参考になった</p>	<p>ビジネスモデルと、事業構想が横の繋がりだけでなく、縦、ななめの関係もあると知った</p>
<p>明治時代などの話を聞くと古くて今には当てはまらないのではないかと思ったがそんなことはないのを知り、驚いた 全てはそういった昔の人々の基礎の上に築かれていて 良いものは残っていくということを感じた 最初人名が出てきたときは、ビジネスモデル論と関係がないのではなかったが、よくよく聞いてみるとそうではなかった ビジネスモデルという面だけでなく、様々な面近代の人々から学べるところもあるなと気づかされた</p>	<p>後藤新平という人を私はこの授業で初めて知った 異分野の事業に携り、それぞれを充分に発展してきたことに驚いた</p> <p>後藤新平の名前は聞いたことがあったが、こんなに素晴らしい人だとは思わなかった 特に8億円計画がすごいと思った しかし実現できないまま亡くなってしまったのは非常に残念だ 後藤さんのように様々な構想ができるような力をつけたい</p>	<p>丸い建物が建てられたという話が実話ならば面白いなあ...と感じた 実話だとすれば打ち合わせの重要さを人にあらためて人に教えるものだと思う 高校時代は日本史を選択していたが、後藤氏のことはあまり知らなかった</p>	<p>最初の「文明の生態史感」が興味深かった 長い歴史と広い世界をこのような視点で見ると意外な共通点があったり、初めて気づくようなこともあるということがわかった</p>
		<p>遠眼鏡 1人で持てば 罪作り と言われるほど優秀に生まれたかった 杉原 千畝の話が出てきてうれしかった</p>	<p>構想がきちんとしている話ができる人は、話の内容を図にできる、ということに、本当だな、と思った 確かに図で明確に物事を表すことができる物事は、話したり理解したりするのが楽だ 図にする能力はプレゼンや勉強など様々なところで必要になるので自分も身につけたい 反論できないほど納得させられて、続きが読みたくなった</p>
		<p>後藤新平はすごい人だと思う</p>	<p>構想ということが印象に残った そして どんなりーダーが生まれるかによって まわり、大きくは世界が変わる 「一人で持っては罪を作る」この言葉は非常に意味深いと思う</p>

# ビジネスモデルと人的資源管理1

.060628

<p>モデル=図 どんなビジネスモデルでも図で表現することによって成長していく 人的資源管理は実現可能なビジネスモデル構築の基礎だと思う 後藤氏は先見の目を持つ、敏速、精確、明機の仕事方式 中国に対して、偉大な貢献をしたことに対して尊敬する。</p>	<p>フルキャストの平野さんが、「良い社長の条件」ということを述べた時に「人たらしであること」と言っていたが 後藤氏の人の交友関係を知り、なんとなくそれを思い出した 適所適材 その分野に優れた人を代表するというやり方は一見ストレートだとは思いますが、人を見抜く力が後藤氏にはあったのだと思った</p>	<p>人をつくること、どんな人であるかということが、ビジネスモデルには大切なのだということがわかった 後藤新平や満鉄の話が聞けてよかった 5ページに書いてある「自治三訣」の言葉が胸に響いた</p>
<p>自分の出身地は中国の大連だ 大連は昔から日本と関係が深い町だ 町づくりや、建物は日本に非常に似ている 後藤氏のことは知らなかったが、先生の紹介を聞いて本当にすばらしい人だと感じている</p>	<p>後藤氏がいなくて、今の日本はなかっただろうと感じ、同時にこの人1人に頼りきりの日本の弱さも感じた</p>	<p>後藤新平について詳しく知ることが出来た 彼の歴史を見ることで、新たな視点から事業構想を学ぶことが出来、非常に興味深い講義だった 次回の講義では現代の人物のビジネスモデルを学べるということで非常に楽しみだ</p>
<p>どんな人間がいるか、どんなビジネスモデルが作れるかはビジネスモデル論と人的管理の関係だと思う 後藤氏は彼なりのモデルを作って、学校を重視し、学校をどんどん作って、人的資源をなくならないようにと良い循環を作っていたので、これもビジネスモデルの一部だと思った</p>	<p>後藤新平の事業構想の考え方にとても考えさせられた</p>	<p>新しいことを始めてそれが受け入れられて成功するというのは、すごいことだと思う</p>
<p>ビジネスモデルを図解することによって構築するのが大変興味深いと思った 自分が図解について興味を持ったのは、「ビジネス情報論」の授業がきっかけだ 学問というのは「複雑なものを単純化、理想化すること」だということを知り、初めて「学問」という深奥なことについて考えた ことのない自分は「なるほど」と思い、少し驚いた ビジネスモデルで人と組織は重要な役割を果たしていると感じ、少しでも教えていただければ、と思う</p>	<p>宮城大の設立の経緯や、優れた構想家であったという 後藤氏の話も興味深かった 今の政治家にはあまり大きな構想を持っている人間は少ないのではと思った</p>	<p>今日の話はいつものプレゼンの話ではなく人物についての話でちょっと驚いた だが、非常に興味深かった 来週も楽しみだ</p>
<p>先生が多くの人物記念館に行っているということに驚いた</p>	<p>今回の講義で後藤氏について学んだ 医師でありながら事業構想家でもあった後藤氏の偉業は興味深かった ユダヤ人を5000人も救った人物が残した言葉が 後藤氏の言った言葉であったことに驚いた</p>	<p>人物記念館が日本中にたくさんあることに驚いた 行ったことがないが、興味が湧いた 後藤新平という、張作りん爆破事件しか知らなかったが、医師でありながら、異分野である、事業構想をもこなす人物であったと聞いて、本当に素晴らしい人物であることが分かった 歴史上の人物からもビジネスモデルに学ぶことができることに驚いた</p>
<p>日本はアジアでなく、ヨーロッパの枠組みに入る考えがあるということに驚いた また、それに反する論が出されていないことにも驚いた</p>	<p>いろいろな人の話を聞いた 成功している人には、その人の独自の考え方ややり方があることがよく分かった そして、その考え方などはどの分野の事業においても通用すると思った 自分の信じるやり方を貫くということが大事だと感じた</p>	<p>西ヨーロッパと日本はある意味では兄弟であるという見方を聞いて、とても驚いた</p>
<p>宮城大の建物がこの形になった理由が本当ならおもしろい</p>	<p>この講義で現代の(最新の)スタイルを教えてもらった しかし、近代の人々の所業を知る事も新鮮でよかった 自分は日本史が大好きなので、歴史上の人物から学べるのがあったら、是非、またピックアップしてほしいと思う</p>	<p>後藤氏のことを初めて知った 大変感心した 中国人からしてみれば大した人ではないですが、日本人からしてみれば、英雄といえるくらいすばらしい人だ 一番驚いたのは25歳で病院長、医学校長になったことだ 後藤氏の努力の過程こそ今の時代でも勉強すべきだ</p>
<p>宮城大の開学時の話がおもしろかった</p>	<p>大学がいかにして出来たという話を聞いてよかった 思った以上に環境資源面を大切に、生かしていた事が分かった また、日本の歴史にしても学ぶ事ができた 後藤新平という人物について知らなかったのととても興味深かった</p>	<p>日本史について高校以来全く勉強していなかったのが、少しずつ思い出してきて少しスッキリした 学校で習わないような話ばかりだったのでおもしろかった</p>
<p>後藤氏の「自治三訣」という言葉は、なにか胸にしみいるものがあり、このような偉人をめぐる旅を私もしてみたいと思った 坂本龍馬が好きだ</p>		